

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長 様

郵便番号 210-0864
 住 所 川崎市川崎区池上町2番1
 氏 名 エヌケーケーシームレス鋼管(株)
 代表取締役社長 パルネデ・ロランド・コリス 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌケーケーシームレス鋼管株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区池上町2番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	継目無鋼管の製造・販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	33,210	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	安全衛生・環境防災室
		所在地	川崎市川崎区池上町2番1
	電話番号		044-322-1019
	FAX番号		044-322-1587
	メールアドレス		
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	H25年度 ~ H27年度 (報告年度 H26年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 70,295 t-CO ₂ (調) 70,295	(実) 69,990 t-CO ₂ (調) 69,990	(実) 62,009 t-CO ₂ (調) 62,009	(実) (調)	(実) 67,604 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 0.4 % (調) 0.4	(実) 11.4 % (調) 11.4	(実) % (調)	(実) 3.8 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度に比べて主たる排出源である継目無管工場の生産量が4%増加したが、省エネによる削減努力により、排出量を0.4%削減した。
第2年度	加熱炉の操炉方法改善による燃料原単位の改善、プロアーの空運転の防止による電力削減等による省エネ活動の強化を図り、大幅な排出原単位の改善ができた。その結果、最終年度の目標排出量をすでに達成し、削減率は目標の3倍に到達した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の強化 ○エネルギー使用実績の把握 ○主要設備の保全管理 ○ガス燃焼設備の原単位改善 ○精整ラインの効率的運用 ○油圧ポンプの稼働台数の適正化
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用実績の把握 ; 熱処理炉の省エネ診断(熱精算、侵入空気の実態等)を実施した。 ○主要設備の保全管理 ; 加熱炉、熱処理炉の設備点検(ウォーターシール等)を保全部署に加えて運転部署にて強化した。 ○油圧ポンプの稼働台数の適正化 ; 主要な油圧設備で、負荷に応じた調整(流量、圧力、台数)を実施した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ガス燃焼設備の原単位改善 ; 大径管加熱炉、小径管加熱炉の操炉方法の改善を実施し、燃料使用量を大幅に削減した。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 ○川崎温暖化対策推進会議への参加
第1年度	○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策として、主要廃棄物である廃ショットブラストのショットブラストの効率改善による削減を実施した。
第2年度	○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策として、主要廃棄物である廃ショットブラストのショットブラスト材料をアルミナに統一し、有価物として再利用できるルートにより、廃棄物としての排出量を大幅に削減した。 ○川崎国際環境技術展2015に出展し、温暖化防止活動について紹介した。 ○川崎市 第4回東扇島クリーン大作戦にボランティアとして10名参加した。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	63,665	t-CO ₂
(調)	63,665	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
継目無管工場	川崎市川崎区池上町2番1	2234	鋼管製造業	63,401 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	1
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--